

愛媛鉄道（予讃線）「伊予大洲駅～伊予長浜駅間」開通１００周年記念式典の開催について

平成３０年１月３１日

愛媛鉄道として、大正７年（１９１８年）２月１４日に伊予大洲駅～伊予長浜駅間が開通し、本年２月１４日に１００周年の節目を迎えることとなります。

つきましては、沿線の皆様及びご愛顧いただいた方々に感謝の意を含め、記念式典の開催をはじめ沿線の賑わい創出事業等を下記の通り行います。

記

１ 記念式典の開催

（１）開催日時

平成３０年２月１４日（水）午前９時１５分～９時５０分

（２）開催場所

伊予大洲駅 ３番ホーム上

（３）記念列車（対象列車）

伊予大洲駅９時４６分発、伊予長浜駅経由松山駅行き普通列車（おさんぼなんよ車両で運行予定）

（４）式典内容

①主催者あいさつ

②来賓あいさつ

③出席者紹介

④園児の合唱

大洲市 喜多保育所

曲目 １曲目「ゆげの朝」、２曲目「カレンダーマーチ」

⑤和太鼓の演奏

地元「心奏（みかな）」による和太鼓演奏

⑥来賓、主催者によるくす玉開花

⑦伊予大洲駅長と園児代表による出発合図により対象列車出発

（５）その他

式典開催日がバレンタインデーに当たることから、喜多保育所の園児から出席者へのチョコレートのプレゼントを予定しています。※式典開始前に実施予定

大洲市キャラクター「Ｏ級くん」とＪＲ四国公式キャラクター「すまいる えきちゃん」「れっちゃん」が参加し、式典を賑わせます。

２ 賑わいの創出

開通区間の沿線等において１００周年の感謝の気持ちを地域の方と一緒に祝いすることと賑わい創出のため、次の事業を実施します。

（１）駅舎等への記念「看板」の掲出

記念区間の駅は駅開業１００周年でもあることから、駅舎正面に沿線の方々への感謝を含めた看板を設置する。※春賀駅は昭和３６年１０月２０日開業

①掲出駅

伊予大洲駅、五郎駅、春賀駅、八多喜駅、伊予白滝駅、伊予出石駅、伊予長浜駅（計７駅）

②掲出期間

平成３０年２月１４日（水）～１１月末

※台風等で一旦撤去する場合があります。

(2) 記念「のぼり旗」の掲出

①掲出駅

伊予大洲駅～伊予長浜駅間の各駅（上記7駅）

②掲出期間

平成30年2月14日（水）～11月末
※台風等で一旦撤去する場合があります。

③様式

イメージ参照⇒

(3) 開通100周年記念「写真パネル展」の開催（予定）

（主催：大洲市）

①開催場所

伊予大洲駅 コンコース及び待合室

②開催期間

平成30年2月14日（水）～11月末

③内容

昭和初期以降の写真、絵地図等を掲示する写真展

(4) 開通100周年記念「歴史年表」ポスターの掲出

①掲出駅

伊予大洲駅、伊予長浜駅

②掲出期間

平成30年2月14日（水）～11月末

③年表

別紙参照

3 周年イベント実施期間

平成30年2月14日（水）の記念式典開催をキックオフとし、12月をエンディングとする約10ヶ月間を周年記念期間とします。

イベント詳細、新たな事業等が発生する場合は別途お知らせします。



▲「のぼり旗」デザイン（イメージ）

○愛媛鉄道（予讃線）「伊予大洲駅～伊予長浜駅間」歴史年表

別紙

年月	概要(内容等)	記事
明治 43 年(1910 年)	愛媛鉄道の前身「西予電気軌道会社」が伊予鉄道の郡中駅を起点に中山、立川、内子、大洲、千丈を経て八幡浜に至る約 59.5km と八幡浜・喜須来間約 1.6km の施設を請願	
明治 44 年(1911 年)	「西予軽便鉄道会社」と改称して軽便鉄道敷設の免許状を取得	
大正元年(1912 年)	「愛媛鉄道会社」と改称して会社設立に努力を重ねたが、経済界の株式募集が思うように進まず、工事施工申請期限を再三延長	
大正 4 年(1915 年) 6 月 24 日	愛媛鉄道会社の創立総会を松山市で開催し、会社創立	
大正 5 年(1916 年) 5 月	当初の予定線を大きく変更。郡中以南は海岸線の長浜経由に改め、中でも工事の容易な肱川沿岸の大洲～長浜間 14.6km を選んで建設工事に着手したが、会社の経営はいぜん苦しかった。	
大正 7 年(1918 年) 2 月 14 日	大洲駅（現伊予大洲駅）から長浜町駅（現伊予長浜駅）間(15.8km)が開通 ※肱川水系を活用した木材搬送を大洲から長浜まで大量に行い、長浜は木材全国三大集散地として活気があった。この開通により鉄道利用にシフトされることとなる。	
大正 9 年(1920 年) 5 月 1 日	愛媛鉄道の支線として、大洲（若宮分岐点）から内子間(10.3km)が開通	
昭和 7 年(1932 年) 12 月 1 日	予讃線、南郡中から伊予上灘間(11.1km)が開通	
昭和 8 年(1933 年) 10 月 1 日	愛媛鉄道の長浜町駅（現伊予長浜駅）・大洲駅（現伊予大洲駅）間、若宮・内子駅間が国有化となり、愛媛線となる。加屋駅を移転し、伊予白滝駅に改称。高松車掌所伊予大洲支所の設置。若松信号所の設置。	
昭和 10 年(1935 年) 6 月 9 日	予讃線、伊予上灘から下灘間(5.3km)が開通	
昭和 10 年(1935 年) 10 月 6 日	予讃線、下灘から伊予長浜間(10.7km)が開通 ※これにより予讃線は、高松から伊予大洲まで鉄路でつながった。 内子線、五郎から新谷間(3.7km)が開通、同時に伊予大洲から新谷間の営業を廃止し、新谷から内子間を内子線に編入	
昭和 11 年(1936 年) 9 月 19 日	予讃線、伊予大洲から伊予平野間(4.0km)が開通	
昭和 14 年(1939 年) 2 月 6 日	予讃線、伊予平野から八幡浜間(9.3km)が開通	
昭和 16 年(1941 年) 5 月 21 日	伊予大洲自動車区を設置し、伊予日吉自動車区は同区の支所となる。 ※平成 9 年(1997 年)大洲営業所を廃止	
昭和 20 年(1945 年) 6 月 20 日	予讃線、八幡浜から卯之町間(14.6km)が開通、宇和島線宇和島～卯之町間を予讃線に編入し予讃線全線開通となる。	
昭和 36 年(1961 年) 10 月 20 日	八多喜から五郎間に春賀駅が開業	
昭和 47 年(1972 年) 3 月 15 日	四国初の特急列車「しおかぜ」号を高松から宇和島間で運行開始	
昭和 61 年(1986 年) 3 月 3 日	予讃線、向井原から内子間(23.5km)及び伊予大洲から新谷間(5.9km)が開通 ※内山線として松山～南予間の短縮路線として開業 これにより、内子線五郎～新谷間(3.7km)が廃止される。	
昭和 62 年(1987 年) 4 月 1 日	四国旅客鉄道株式会社発足	
昭和 63 年(1988 年) 4 月 10 日	瀬戸大橋開通。瀬戸大橋線開通により、本州と四国が 1 本のレールで結ばれる。 これに伴い、宇高連絡船が 78 年の歴史に幕を閉じる。	
平成 26 年(2014 年) 7 月 26 日	JR 四国初となる本格的観光列車「伊予灘ものがたり」が松山～伊予大洲・八幡浜間で運行開始 開通 100 周年区間（伊予大洲～伊予長浜間）を運行中	